

いすぐみだより

寒い日が続いている今日この頃。冷たい風にも負けない、子どもたちの笑い声が響いています。

くもりや雨の日が多かった1月は、新聞ちぎりや型はめパズルなどの机上遊びをしたりと、室内で遊ぶ日が多くありましたが、2階のホールに行ったりと身体を動かすことも楽しむことができました。2月も感染症などに注意しつつ、元気に過ごしていきたいと思えます。

友だちとの関わり

友だちとの関わりが増えてきた子どもたち。友だちと同じ遊びを楽しむ姿がよく見られるようになりました。言葉を交わしてやりとりを楽しむ訳ではありませんが、互いに真似をして同じ場所で同じ玩具を使っていたり、同じ動きをして遊ぶことが楽しいようです。

そんな中でも、だんだんと自己主張が強くなり、互いの主張がぶつかり合うことも増えてきました。子どもたちは、ぶつかり合いを通して、相手の気持ちに気付いたり自分の思いを伝える経験をしていくことで、人とどう繋がっていくかを学んでいきます。行ったり来たりを繰り返しながら、成長していく子どもたちの姿を、温かな目で見守っていきたいと思えます。

衣服の調整を

肌寒い朝夕が続くようになり、子どもたちにジャンパーを羽織って外に行く日が増えました。一方で「子どもには、大人より1枚少ない程度」の衣服の枚数が良いとされています。理由として、外気温を受けて体温調節をする機能を育てることや、子どもの体温は大人よりも高めで、動きも多く、体温の変動が大きいことなどがあります。

朝夕は寒くても、日中、日が差すと体感温度や室温が上がることもあります。汗かきな子や、寒がりな子など、子どもたちそれぞれの特徴に合わせてながら、衣服の着脱をこまめに行っていきましょう！

今月おすすめの絵本

だるまさんやブタさんなど、子どもたちの大好きな登場人物が、続々と出てきて「あっぷっぷ！」と変な顔をしてきます。子どもたちも一緒になって「ぷー！」と言いながら、絵本の中の顔や仕草を真似したり、友だちと顔を見せ合いながら笑っています。絵本のない所でも「あっぷっぷ」で遊ぶ姿も見られるようになりました。子どもたちに膝に座ってもらい、一緒に遊ぶ、ふれあい遊びとしてもおすすめです！

『あっぷっぷ』



文・中川ひろたか
絵・村上康成